

| | | | | | |
|--------|-----------|-----|-----|---------|-----|
| 教科(科目) | 芸術(美術Ⅰ) | 単位数 | 2単位 | 学年(コース) | 4学年 |
| 使用教科書 | 光村図書『美術Ⅰ』 | | | | |
| 副教材等 | なし | | | | |

1 グラデュエーション・ポリシー及びカリキュラム・ポリシー

| | |
|----------------|---|
| グラデュエーション・ポリシー | <p>①高い学力・幅広い教養・学び続ける姿勢を身に付け、グローバル（地域的・地球的）な視野から社会課題を多面的に発見・考察し、その解決に向けて挑戦・行動・発信する能力を育成します。</p> <p>②高い倫理観、他者を思いやる心、傾聴する姿勢、豊かなソーシャル・スキルを持った人物を育成します。</p> <p>③リーダーシップ・フォロワーシップを身に付け、地域社会・国際社会と協働する態度を育成します。</p> |
| カリキュラム・ポリシー | <p>①中高一貫教育を生かし、高い学力と学び続ける姿勢を身に付ける教育課程を編成するとともに、すべての教科・科目において「深い学び」を実現します。</p> <p>②読書、新聞・図書室の活用を奨励するとともに、体験活動を取り入れた教育課程により、幅広い教養を育みます。また、探究の過程を重視するとともに、最新の教育方法を積極的に活用します。</p> <p>③4技能をバランスよく育成する英語授業を実践するとともに、「生きた英語」を学習する機会としての海外研修やさまざまな発表活動に取り組みます。また、積極的に国際交流活動にも取り組んでいきます。</p> <p>④アイデンティティを形成しつつ地域理解を深め、地球的視野で自分なりの社会課題を発見し、科学的な手法を用いてその解決を目指す課題研究を6年間通じて実施します。</p> <p>⑤6年間一貫した方針による道徳や人権教育等を実施するとともに、生徒会活動、部活動、課外活動を通して、主体的・自律的に考え行動し、互いに支え、高め合いながら協働的に活動することを重視します。</p> |

2 学習目標

| |
|---|
| <p>美術の幅広い創造活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、美的体験を重ね、生活や社会の中の美術や美術文化と幅広く関わる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。</p> <p>(1) 対象や事象を捉える造形的な視点について理解を深めるとともに、意図に応じて表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができるようにする。</p> <p>(2) 造形的なよさや美しさ、表現の意図と創意工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生成し創造的に発想し構想を練ったり、価値意識をもって美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。</p> <p>(3) 主体的に美術の幅広い創造活動に取り組み、生涯にわたり美術を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、美術文化に親しみ、心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。</p> |
|---|

3 指導の重点

| |
|---|
| <p>① 楽しく美術の活動に取り組み美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく意欲と態度を育てます。</p> <p>② 対象を深く観察する力、感性や想像力を高め、豊かに発想し構想する能力や基礎的技能を身に付け、多様な表現方法や造形要素に関心を持ち、創意工夫し美しく表現する能力を育てます。</p> <p>③ 自然や美術作品等についての基礎的な理解や見方を広げ、よさや美しさなどを感じ取る鑑賞の能力を育てます。</p> |
|---|

4 評価の観点の趣旨

| 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
|--|--|---|
| 創造的な表現をするために、材料や用具を活用して表現する技能を身に付けている。 | 感性を働かせて美術のよさや美しさを感じ取り、豊かに発想し、創造的に表現を工夫している | 美術を愛好し、表現の主題や形式等に幅広く関心を持ち、意欲的・主体的に表現や鑑賞の活動を行い、その喜びを味わおうとしている。 |

5 評価方法

| | | | |
|------|---|---|--|
| | 評価は次の観点から行います。 | | |
| | 知識・技能 | 思考・判断・表現 | 主体的に学習に取り組む態度 |
| 評価方法 | 以上の観点を踏まえ、 ・制作の初めや途中のスケッチや試作品等 ・制作した作品 などから、評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・制作の初めや途中のスケッチや試作品等 ・制作した作品 などから、評価します。 | 以上の観点を踏まえ、 ・課題の提出 ・学習活動への参加の状況（制作への取組の姿や態度、制作の準備） などから、評価します。 |
| | 内容のまとめりごとに、各観点「A：十分満足できる」、「B：おおむね満足できる」、「C：努力を要する」で評価します。内容のまとめりごとの評価基準は授業で説明します。 | | |

6 学習計画

| 月 | 単元名 | 授業時数 | 教材名 | 学習活動(指導内容) | 評価方法 |
|--------------------------|----------------------------|------|------------------|---|----------------|
| 4 | オリエンテーション 遠近法 | 6 | ・透視図の資料 | ・教科書や図録、生徒作品を鑑賞する。 ・学習の目標をもたせ、学習意欲を引き出す。 ・美術の学習内容に関心を持ち、制作や鑑賞への憧れや期待をもっている。 ・透視図の描き方を理解する。 | 透視図の作品 |
| 5 6 7 8 9 | 校内風景（絵画） | 26 | 教科書 油彩道具 | ・身近な場所を丁寧に見つめ直して描く場所を探す。 ・油絵の具の特質を生かして描く。 ・対象を深く観察し、特徴をつかんで表現する。 ・言いたいことのはっきりと分かる表現をする。 | 油彩作品 |
| 9 10 11 12 1 | 指輪の制作 | 15 | 教科書 鋳金による制作 | ・指輪のデザインをする。 ・デザインした指輪の型を、ロウで削り出して作る。 ・型を石膏に埋没させて焼く。 ・ピューターを流して完成させる。 | デザイン画 指輪の作品 |
| | エッチング （下絵～版の制作） （刷り） | 15 | 教科書 エッチングプレート | ・下絵を工夫して作る。 ・版画の特質を生かして制作する。 ・プレス機で刷り、その結果を見て検討し直す。 ・刷り上がった作品を水張りし、端をカットして仕上げる。 | 作品 |
| 2 3 | 舞台美術 | 8 | | ・東西の舞台美術を映像で鑑賞する。 | 感想文 |

計 70 時間 (50 分授業)

7 課題・提出物等

・作品

8 担当者からの一言

校内風景の制作に一番多くの時間を割きます。普段生活している学校を改めて見つめ直す機会にしてください。
版画では、エッチングという金属板を使用した版画を刷ります。
版の制作、刷り、とそれぞれ違った技術が必要になります。
一つずつ身に付けながら進めて、納得いく作品ができるよう取り組んでください。

(担当：安田)

